



第 131 回 例 会 1962.1.16 (火) 晴 竹に猛虎 斎藤求画伯

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次 回 例 会

1 月 23 日 (火)

○出席報告

本日の出席	出席数 $\frac{45}{48}$ 名	無届 大野君
出席率	93.75%	届出 佐藤(貞)君、佐藤(寅)君
前回の出席	前回出席率 77.08%	メ 1 ク ア ッ プ
修正出席	修正出席数 1名	佐藤(仁)君
修正出席率	79.17%	新潟R.C

○司 会 三 浦 会 長

○ゲ ス ト

吉崎 竹雄君	木工機製造	七尾R.C
大橋 実次君	日本通運K.K	加古川R.C
和嶋茂兵工君	不動産販売	酒田R.C

○ソ ン グ 我等の生業 リーダー 広瀬君

○連絡事項

- 2月23日はロータリー創立記念日でありますので、例年感謝状を贈って後家族会を催しておつたのですが、適当な人があつたなら申し出てほしい。
- 新年会を18日行いますから奨んで出席して下さい。

日 時 1月18日 午後6時
 会 費 1,000円
 会 場 ひ さ ご や

○本日例会終了後理事会を開きますから居残り下さい

○幹事報告

○会報到着 東京R.C、新津R.C、仙台R.C、
 八戸東R.C、天童R.C

○例会場等変更

酒田R.C 1月17日 P.M6.00 相馬屋
 三原R.C 新例会場 三原信用金庫本店
 新事務所 同 上

○そ の 他

シカゴR.Cより当クラブより出したクリスマスカードに対する御礼状が参りました。

○ロスアンゼルスへ――

「太陽の下に何でもある所」今年6月始め国際ロータリー大会が開かれる所「南カリフォルニアの全ロータリアンはあなたの御出を待っています。そして大規模に準備を始めています。ロスアンゼルス記念スポーツ場と博覧会場が主な会場となります。開会式はハリウッドで開かれ、協議会は市内の各ホテルで開かれます」と案内ありましたから、御出席の方は至急小池幹事まで申し込んで下さい。

○ロータリアン誌の購読料 ¥450、その内に徴収に参りますからよろしく。新に購読される方は幹事又は雑誌委員まで申し込んで下さい。

○雑 誌 委 員 津田君より

「友愛の冒険」3.75弗、希望の方は事務局へ申し込んで下さい。

○国際委員 小花君より

○G. Brendel氏より頂戴したクリスマスカードの文面を紹介しします。

わが救い主の誕生が祝われる季節が来るまで、夜明けを告げる鳥は夜もすがら鳴きつづけると人は言うやがてその時期来たれば戸外を出歩く幽霊はいなくなり、夜は健康なものとなり、星も衝突しなくなる妖精も魔女も、人を魔法にかける力を失う。その季節はそれほどに神聖で、それほどに慈悲に満ちた時期なのだ。

ウィリアム・シエークスピア
「ハムレット」第一幕第一場より

○卓話 「柏戸関横綱披露に臨んで」 庄司君

当クラブより頂戴した多額のお金は、柏戸とか伊勢海とか名をつけず差上げて参りました。後援会として厚くお礼申し上げます。

荘内日報紙上で13日より掲載してある記事に詳細に書いてありますから、私は二三の余談を申し上げます

柏戸関の部屋は改装してたいへん立派になつたが、横綱の部屋としては本当に狭い。6畳2間であつた。丁度行つたとき、柏戸関が座布団にどつつかと「アグラ」をかいて居つたが、その優々せまらない姿と「コブラ」の円味丁度半樽位もあるのを見て、これなら本場所優勝出来ると思つた。全く前場所より又1廻り大きくなつたようだ。

今度化粧廻し15組、本場所中に2組頂戴する予定であるので、前に鶴岡後援会から贈られた化粧廻しを御返礼として差上げようと思うと伊勢海から話があつたので、会として頂戴するとはつきりして置いた。

○ニコニコ箱 (1.9) (1.16) の両日分

三井君、黒崎君、飯白君 寅年生れお目出度う
佐藤(伊)君、海東君、今間君、岩網君

1月御誕生お目出度う

大野君、広瀬君、池内君、谷口君、岩網君、
佐藤(仁)君、佐藤(貞)君、五十嵐君、津田君

御令闖御誕生お目出度う

金井(国)君、谷口君……御事業隆昌お目出度う

早退張君、安藤君……御繁忙の為遅刻

高橋君……会場バッチ忘れる程

阿部君、板垣君……御悼み頂戴して

三浦君……ミステークでスマイル

中台君、飯白君……環境衛生貢献したので知事表彰を受けた。鶴岡地区食品協会のお祝いとして

○献立

1月9日 刺身(ぶり、ムキエビ)、焼肴(鱈)
鱈汁、白菜、お酒

1月16日 刺身(あら)、豚肉の南京揚げ(うすあんかけ)、豚肉の味噌汁、御飯

◆ロータリアン誌週間

1962年1月21日(日)～27日(土)

○ロータリー雑誌週間 1月21日～27日

此の雑誌週間の主題は貴下の雑誌——それを読め——それを利用せよ——それを分ち合え——

そして目的はロータリアン誌の一層の利用を奨励する事であります。読了した雑誌を語学の勉学のために、又街の人々にロータリーをひろめるために善意を推進するのにロータリーの雑誌を分ち合う事に努力して下さい。

ロータリアン誌の大きさを此の週間にふり返つて見ましょう。此の雑誌1年分を印刷する用紙の量は、95エーカーのバルブ材森林に匹敵します。

そして136ヶ国へ拡まり、殆んど世界各国の人々から読まれております。又誕生以来51年、全く円熟した年令に達しています。

◎タイムリーチップNo.4より。

◎ロータリアン誌は、はじめ1911年1月、初代R・I事務総長チエスレーR・ベリーによつて考えだされ編集された小さな12頁新聞として出発しました。

◎過去10年間此の雑誌の芸術的優秀性に対して、4個の賞を与えております。

○当クラブ新年会

去る18日6時よりひさごやで新年会を開きました。19名の出席者を得て、一層なごやかさの中で目的たる親睦と友情をひろめ、無事終了しました。深夜に及ぶまで話は尽きず、会場改めて懇親に及んだ。会員多数あつた事も申しそえます。